

エムウェーブ長寿命化改修工事実施設計技術協力業務委託
(施工予定者選定)公募型プロポーザル技術提案書評価基準

1 評価項目に対する評価事項と配点

評価項目		様式	評価事項	配点	
				評価点	合計 (配点率)
提案項目 (70点)	施工上の課題に関する提案	5-2	屋根改修について 品質や作業の安全を確保し、経済的で効率よく施工する方法についての提案	10	30 (30%)
			設備機器の更新について 品質や作業の安全を確保し、経済的で効率よく施工する方法についての提案	10	
			施工上特に注意すべき事項と解決策(2項目まで)	5×2	
工程管理に関する提案	5-3	工程管理について 工程管理の方策、重点ポイント、工程遅延対策についての提案	10	20 (20%)	
		週休2日推進に関する提案			
		休館日数短縮のための提案	10		
環境への負荷低減に関する提案	5-4	環境負荷低減について 資源の消費や廃棄物の発生が環境に与える負荷の低減に適切に対処する取り組みについて 更新機器の耐用年数と維持管理(メンテナンスの頻度と費用)について	10	10 (10%)	
地域貢献に関する提案	5-5	市内建設事業者の工種別の具体的な活用方法と活用想定額	5	10 (10%)	
		市内企業からの資材、日用品等の具体的な調達・購入計画	5		
価格項目 (30点)	工事費見積書	8	概算見積価格	30	30 (30%)
合計				100	100 (100%)

2 評価基準

(1) 定性評価項目

ア 施工上の課題に関する提案/工程管理に関する提案/環境への負荷低減に関する提案

項目の評価	評価点	
	配点:10	配点:5
具体的な提案の的確性・実現性が極めて優れている	10	5
具体的な提案の的確性・実現性が十分に考慮され、優れている	8	4
具体的な提案の的確性・実現性が考慮されており、ほぼ満足できる	6	3
具体的な提案の的確性・実現性が考慮されているが、不足である	4	2
具体的な提案の的確性・実現性がほとんど考慮されておらず、極めて不足である	0	0

イ 地域貢献に関する提案(企業からの建設資機材、日用品等の調達計画)

項目の評価	評価点
	配点:5
活用方法や実現性が極めて良好である	5
活用方法や実現性が良好である	4
活用方法や実現性が十分である	3
活用方法や実現性がやや不十分である	2
活用方法や実現性が不十分である	0

(2) 定量評価項目

ア 休館期間短縮に対する評価点は、最も休館日数の短い者を満点とし、他の者は最も休館期間が短い者との割合による計算により算定する。

$$\text{得点} = \text{配点(10点)} \times \frac{\text{最も短い休館日数}}{\text{当該応募者の休館日数}}$$

算定式により得点を算出し、小数第3位を切り捨てし、小数点第2位まで求めたものを評価点とする。

イ 長野市内建設事業者の活用方法は、工事費見積額に占める市内建設事業者の活用工事の合計金額比率（以下「活用割合」という。）に応じ、配点に評価率をかけて評価点を算出する。

$$\text{活用割合 (\%)} = \frac{\text{1次下請けに市内建設事業者を活用する想定額 (税抜き)}}{\text{工事費見積額 (直接工事費)}} \times 100$$

長野市内建設事業者の活用割合 (%)	配点(5点)×評価率	評価点
50%以上	配点 × 1.0	5
30%以上50%未満	配点 × 0.8	4
20%以上30%未満	配点 × 0.6	3
10%以上20%未満	配点 × 0.4	2
10%未満	配点 × 0	0

ウ 価格項目に対する評価点は、工事費限度額と工事費見積額との比率（以下「見積率」という。）により算出する。

$$\text{見積率 (\%)} = \frac{\text{工事費見積額}}{\text{工事費限度額}} \times 100$$

価格評価	見積率が100%以上の場合は、価格評価点は0点とする。
	89.5% < 見積率 < 100%における評価点 89.5% : 30点と100% : 0点を通る直線式により算定される以下のyの値を価格評価点とする 価格評価点算定式 $y = b \times (1 - x/a)$ x : (見積率 - 89.5) % y : 価格評価点 a : 100 - 89.5 = 10.5 b : 30
	見積率が89.5%以下の場合、価格評価点は30点とする。

※価格評価算定表に示す評価基準と算定式により得点を算出し、小数第3位を切り捨てし、小数点第2位まで求めたものを、価格の評価点とする。

【例1】 見積率が90%だった場合の価格評価点

(工事費)

$$x : (90 - 89.5) \% = 0.5 \%$$

$$y : (30 \times (1 - 0.5 / 10.5)) = 28.571 \text{点} \rightarrow 28.57$$

価格評価点のイメージは次のとおりとする。

